

## 閉会挨拶

### 【中国運輸局 土肥局長】

ただいまご紹介いただきました、国土交通省中国運輸局長の土肥でございます。皆様方におかれましては、平素より私どもの運輸関係の行政につきまして、多大なるお力添えをいただいておりますことを、まずこの場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げたいと思います。

本日は、また皆様方お忙しい中、このチームの本会議のほうの御出席をいただきまして、また、限られました時間の中で、たくさんの貴重な御意見を頂戴いたしまして、非常に有意義な会議になりましたことに厚く御礼を申し上げたいと思います。

2点程私のほうから話をさせていただきたいと思います。

まず1点目の災害対応の関係でございます。今年新たに設置した、物流ネットワーク機能継続検討ワーキンググループ、こちらのほうで色々な案を検討いただいているところでございます。

私どもとしては、できること、直ちにやるべきこと、そういうものから着実に取り組んでいくことが肝要ではないかと思っております。

昨年の7月の豪雨災害は、この地域も物流面でも非常に大きなダメージを受けたところでございます。また、その後でも全国各地で諸々の災害を受けており、災害に対する備えについては、日頃からちゃんとやっておかなければいけないことを改めて感じているところでございます。皆様方の引き続きのお力添え、よろしくお願い致します。

それから2点目の生産性向上、物流における効率化のことでございます。まず、本日もたくさんの御意見を頂戴しましたけれども、当面、喫緊の課題である労働力不足についてです。この労働力の確保、人材の育成、これは中国地方の国際物流機能強化にとっては必要不可欠な論点であると思っております。

ただし、これについて申し上げますと、残念ながら、今のところ万能特効薬はございません、というのが私の認識でございます。ただ、そこで終わってはどうしようもないので、それには先程来から、色々皆様方からも御意見をいただいておりますし、先ほど津守先生のほうからもお話をいただいたところでございますけれども、それぞれの業界におきまして、それぞれの背景、それから取り組んでいる問題、諸事情は異なるところかなと。あるいは求められる人材もおのずと違いがあるかと思っておりますので、そこについては、私ども行政としましても、地道かつ愚直に取り組んでいくしかないというのが私の今の率直な感想でございます。

派手さというところではないのですけれども、私ども運輸局といたしましても、地道かつ愚直にこの問題には真摯に取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様方の引き続きのお力添え、あるいはお知恵の拝借というものをよろしくお願いしたいと思っております。

そして物流効率化ということについて申し上げますと、本質的には、突き詰めて考えてみますと、我が国で今やっておりますラグビーのワールドカップ、来年はオリパラ、さらには2025年に大阪万博が来るというようなことで、どんどん景気づけるような政策というのが諸々あるわけでございますけれども、今後ますます進んでいくであろう少子高齢化、特に、生産年齢人口の激減、および、それに直面する諸々の問題というか、事象、これはもうもはや避けられない国難といつていいような、そういう事象については、もう絶対に避けられない状況でございます。これに向かって、どうしたって立ち向かっていく必要がある、こういうことになるのではないかと思っております。

物流においても、物流の総合化、効率化、生産性向上というのは、これは待ったなし、絶対に避けて通れないことだと思っております。ICTの活用ですとか、さらに原材料、エネルギー資源の輸入効率化、あるいは複数の企業が連携した輸送ネットワーク形成、あるいは大量一括輸送の推進、さらには自動運転、諸々色々なことを考えながら、これにも取り組んでいかなければいけない、産業としての競争力という機能強化というのを継続して進めていかなければいけないと考えております。この点につきましても、引き続きの皆様方のお力添えを賜ることができればと思っております。

すみません、長くなりましたけれども、最後になりますけれども、皆様方におかれましては、本当にご多忙の中、本会議に御出席いただきましたことにつきまして、改めて感謝を申し上げまして、私からの御挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

## 【中国地方整備局 水谷局長】

中国地方整備局長の水谷でございます。いつもお世話になっております。主催者 2 人目ということなので、簡単に御挨拶をさせていただきたいと思っております。

まずは本日、政策提言案をご承認いただきましてありがとうございます。有志一同の皆様において、政府への要望活動を行っていただくとともに、我々国の機関、または関係する自治体も含めて、これを道しるべとしてこれから 1 年間しっかりやっていきたいと思っております。

また、特に昨年の 7 月豪雨を受けて、災害対応ということで津守先生をはじめ、ワーキンググループの皆さんに大変熱心に議論していただきまして、ここまで進んでいただいたこと、ありがとうございます。大変感謝しております。また、きょう提示させていただきましたように、この 1 年の間に必要な短期的な対応というのをしっかりやっていきたいと思っております。

それから私自身が感じていることを一つ申し上げますと、物流をしっかりやっていくとなると、港湾の整備もそうですけれども、当然、背後の道路の整備等がうまく連携していかなくては行かないし、当然、それに合わせて、例えば、倉庫のような物流の用地の整備をどうするかとか、細かい色んな投資に関することが沢山あります。それはきちんと歯車が一緒に回っていくとうまくいきますけれども、回っていかないとなかなかうまくいかない例もあります。

こういった本日のこの会議は、港湾、道路、物流、それから海上物流、陸上物流、関係する皆さんが一堂に会するという、実は中国地方ではこれしかない会議であります。こういった中で議論をしっかり進めさせていただいたことはありがたいと思っておりますし、また、こういった会議の場だけでは、個々の港およびその背後の課題というのはそれぞれ違いますので、こういった会議を活用して、皆さん、顔の見える関係になりましたので、ぜひ個別の課題もどんどん遠慮せずに言ってきていただければ、それに応じてそれぞれの港、それぞれの背後地で対応していきたいと思っております。

まだまだ中国の物流は、改善すべきところは沢山あるように思います。皆さん一緒になって Win-Win の関係を作って、改善していきたいと思っておりますので、どうぞ引き続きよろしくお願ひしたいと思っております。本日はありがとうございます。